

## 2006年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

2005年8月8日

上場会社名 株式会社ゼンショー

(コード番号：7550 東証第1部)

(URL <http://www.zensho.com/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小川 賢太郎

TEL:(03)-5783-8850

責任者役職・氏名 取締役グループ管理本部長 本田 豊

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

従来、当社及び連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法は主として定率法(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)は定額法)によっていましたが、当連結会計年度より一部の連結子会社を除き定額法に変更しました。

この変更は店舗別損益計算の精緻化と迅速化のため管理会計と財務会計を一致させたものであり、予算管理の徹底を目的とするものであります。

また、当社及び連結子会社の有形固定資産は主として直営店の店舗設備であり修繕等の維持コストも計画的に発生することが見込まれることから、定額法がより実態に即しております。

この結果、従来の方法によった場合と比較して当第1四半期の減価償却費は3億8百万円減少し、営業利益は2億95百万円増加し、経常利益及び税金等調整前当期純利益は3億8百万円増加しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 2006年3月期第1四半期財務・業績の概況(2005年4月1日～2005年6月30日)

#### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(金額は百万円未満を切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2006年3月期第1四半期	33,260	(16.1)	1,738	(223.2)	1,618	(346.3)
2005年3月期第1四半期	28,644	(4.9)	537	(57.1)	362	(67.0)
(参考)2005年3月期	125,353		4,230		3,684	

	四半期 (当期)純利益		1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
2006年3月期第1四半期	565	(-)	20	98	-	-
2005年3月期第1四半期	166	(-)	12	31	12	31
(参考)2005年3月期	723		53	28	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を表示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

（業績全般の概況）

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加、個人消費の持ち直しなど、景気回復に向けた緩やかな動きが見られますが、原油価格高騰の影響などにより、本格的な景気回復には至っておりません。

このような状況のもと当社グループは、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画（G200：2008年3月期に売上高2,220億円、経常利益200億円、当期純利益76億円、1株当たり当期純利益280円を目標とする計画）を達成すべく業績の向上を目指し、新規出店による店舗網の拡充及びグループシナジーの追求、お客様のニーズに合わせた業態ごとの商品政策、経営効率の改善による収益力の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、連結売上高332億60百万円、連結経常利益16億18百万円となりました。

事業セグメント別の業績は次の通りであります。

（牛丼関連）

牛丼関連につきましては、積極的な事業の拡大に努め、「すき家」を全国に20店舗出店し、1店舗を閉鎖いたしました。以上の結果、当第1四半期末の店舗数は、合計608店舗となりました。

商品政策といたしましては、2005年5月に「ピピンパ牛丼」の開発・販売を行いました。更に、お客様によりおいしい商品を安心して召し上がっていただくため、引続き品質管理の強化とサービス水準の向上を行ってまいりました。

以上の結果、牛丼関連の当第1四半期の売上高は、104億65百万円となりました。

また、2005年3月に発行済株式総数の33.01%（議決権比率33.04%）を取得した株式会社なか卯につきましては、2005年7月に株式公開買付（TOB）を行った結果、持株比率が発行済株式総数の60.00%（議決権比率60.06%）となり、当社の連結子会社となっております。

（ファミリーレストラン関連）

ファミリーレストラン関連につきましては、ファミリーレストラン「ココス」を始めとして12店舗出店し、6店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は、537店舗となりました。営業政策につきましては、質の高いサービスの提供と安全でおいしい「食」を通じて、お客様に豊かさや幸せを提供することに引き続き取り組んでまいりました。

ファミリーレストラン「ココス」につきましては、春夏メニューを導入するとともに店舗改装やドリンクバーの充実を推進してまいりました。

ビッグボーイジャパンにつきましては、メニュー改定により主力商品であるハンバーグカテゴリーの更なる充実を図ってまいりました。

以上の結果、ファミリーレストラン関連の当第1四半期の売上高は、163億71百万円となりました。

（焼肉関連）

焼肉関連につきましては、株式会社ぎゅあんににおいて2店舗の出店を行い、当社のグループ会社である株式会社ユーディーフーズから5店舗の営業を譲り受けた結果、当第1四半期末の店舗数は46店舗となりました。

また、米国産牛肉輸入再開の見通しが立たない中、品質を維持し、安定的な商品提供に努めてまいりました。

以上の結果、焼肉関連の当第1四半期の売上高は、14億31百万円となりました。

(ファストフード関連)

ファストフード関連につきましては、3店舗の出店を行い、5店舗の閉鎖を行った結果、当第1四半期末の店舗数は256店舗となりました。

以上の結果、ファストフード関連の当第1四半期の売上高は、48億82百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(金額は百万円未満を切捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
2006年3月期第1四半期	82,993	10,668	12.9	395	64
2005年3月期第1四半期	77,351	9,537	12.3	707	40
(参考)2005年3月期	83,235	10,270	12.4	761	77

(注) 2005年3月31日の株主名簿に記載された株主を対象に、2005年5月20日付けで普通株式1株につき2株の割合をもって分割しております。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

第1四半期末の財政状態につきましては、総資産829億93百万円(前連結会計年度末比56億42百万円増)、負債641億92百万円(前連結会計年度末比49億86百万円増)、株主資本106億68百万円(前連結会計年度末比11億30百万円増)となりました。

[参考] 2006年3月期の連結業績予想(2005年4月1日~2006年3月31日)(金額は百万円未満を切捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	70,094	4,000	509
通期	151,496	7,560	1,501

(注) 上記の数字は、株式会社なか卯の公表予算を元に、上期は持分法適用会社とし、下期は連結子会社として算出しております。この数字には、当社の連結子会社になることで見込めるシナジー効果を含んでおりませんので、今後変動する可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円,%)

科 目	当四半期 (2006年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (2005年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 2005年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金	11,144	13,607			10,629
2. 受取手形及び売掛金	474	368			422
3. 有 価 証 券	-	22			-
4. た な 卸 資 産	1,098	894			961
5. 繰延税金資産	233	129			461
6. 繰延ヘッジ損失	2,035	4,168			4,693
7. そ の 他	5,154	3,672			5,105
8. 貸倒引当金	0	0			0
流動資産合計	20,139	22,861	2,721	11.9	22,272
固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	19,721	17,681			18,413
(2) 機械装置及び運搬具	1,517	1,220			1,433
(3) 土 地	4,183	3,904			4,221
(4) そ の 他	2,780	2,256			2,721
2. 無形固定資産					
(1) 連結調整勘定	4,492	2,780			4,631
(2) そ の 他	1,671	1,378			1,642
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	2,199	484			2,219
(2) 差入保証金	18,059	17,502			17,747
(3) 長期前払家賃	6,877	6,517			6,573
(4) 繰延税金資産	167	136			157
(5) そ の 他	1,247	692			1,264
(6) 貸倒引当金	63	65			63
固定資産合計	62,853	54,489	8,364	15.3	60,963
資産合計	82,993	77,351	5,642	7.3	83,235

(単位：百万円,%)

科 目	当四半期 (2006年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (2005年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 2005年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	4,000	4,065			4,019
2. 短期借入金	6,170	2,249			6,260
3. 一年以内返済予定の長期借入金	15,882	12,200			15,484
4. 一年以内償還予定の社債	400	200			400
5. 未払法人税等	546	286			1,512
6. 賞与引当金	1,030	847			753
7. デリバティブ債務	2,035	4,168			4,693
8. その他	6,830	5,185			5,937
流動負債合計	36,896	29,202	7,693	26.4	39,061
固定負債					
1. 社 債	200	600			200
2. 長期借入金	26,082	28,447			24,797
3. 退職給付引当金	511	588			513
4. 役員退職慰労引当金	52	89			100
5. 繰延税金負債	27	-			27
6. その他	421	277			319
固定負債合計	27,295	30,002	2,706	9.0	25,957
負債合計	64,192	59,205	4,986	8.4	65,019
(少数株主持分)					
少数株主持分	8,132	8,608	475	5.5	7,945
(資本の部)					
1. 資 本 金	3,021	3,021			3,021
2. 資本剰余金	2,945	2,945			2,945
3. 利益剰余金	4,693	3,566			4,294
4. その他有価証券評価差額金	40	37			42
5. 為替換算調整勘定	1	-			0
6. 自己株式	33	33			33
資本合計	10,668	9,537	1,130	11.9	10,270
負債、少数株主持分及び資本合計	82,993	77,351	5,642	7.3	83,235

## 2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円,%)

科 目	当四半期 (2006年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (2005年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 2005年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
売上高	33,260	28,644	4,615		125,353
売上原価	10,432	9,643	788		41,520
売上総利益	22,828	19,000	3,827	20.1	83,832
販売費及び一般管理費	21,090	18,463	2,627		79,602
営業利益	1,738	537	1,200	223.2	4,230
営業外収益	171	113	57		608
営業外費用	291	288	2		1,154
経常利益	1,618	362	1,256	346.3	3,684
特別利益	174	62	111		403
特別損失	179	101	78		589
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,613	324	1,289	397.9	3,499
法人税、住民税及び事業税	528	278	249		2,301
法人税等調整額	223	135	87		181
少数株主利益	296	75	220		656
四半期(当期)純利益	565	166	731	-	723

## 3.(要約)四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (2006年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (2005年3月期 第1四半期)	(参考) 2005年3月期	
	金額	金額	金額	
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高	2,945	2,945		2,945
資本剰余金期末残高	2,945	2,945		2,945
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高	4,294	3,904		3,904
利益剰余金増加高 四半期(当期)純利益	565	166		723
利益剰余金減少高				
1.配当金	161	161	323	
2.役員賞与	5	10	10	
利益剰余金期末残高	4,693	3,566		4,294